

| | | | | | | | |
|-----|----------|-----|------------------|----|----|-----|---|
| 科目名 | 英語圏文化論特講 | 担当者 | タケノ 竹野 カズオ 一雄 | 期間 | 通年 | 単位数 | 4 |
|-----|----------|-----|------------------|----|----|-----|---|

【科目概要】

| | | | | | | | |
|---------|---|-----|--|--|--|--|--|
| 目的 | 本講義は、20世紀全般を通して健筆を揮ったイギリスの作家グレアム・グリーンの文学と、19世紀の近代リアリズム小説と異なる文学世界を構築し、キリスト教弁証家としても活躍したC. S. ルイスについて探究し、イギリス文化の要であるキリスト教の理解を深めることを目的とする。 | | | | | | |
| 到達目標 | 二人の作家がその信仰を人間と歴史、またこの世界の問題と関連させてどのように形象化させてきたかを、彼らの作品を読むことによって、私たちが人間の多種多様な経験を理解し、私たちの経験に形を与え、私たちの存在を拡大し、物事に対する意識を高め、思考を活性化させることで、自らの立ち位置を定め、文化活動全般に積極的に関わっていく志向性を培うこと。 | | | | | | |
| 学修方法 | それぞれの教材を虚心坦懐に精読し、批判的、生産的に再読する。この作業がアルファでありオメガである。リポート課題に関する質問が生じたとき、質問事項について自分でできるだけ調べること。その上で疑問点が解決できない場合に、科目担当者に質問するという手順を踏むようにすること。 | | | | | | |
| スケジュール | <p>課題リポートは前期・後期の定められた期間内に提出すること。ただし、履修者は課題リポート草稿の添削を受け、科目担当者の了解を得たあとに最終稿を提出することとする。</p> <p>前期・後期課題リポート提出の順序 課題リポート作成のための準備作業（教材熟読、担当者との質疑応答、資料収集等を含む）。 課題リポート草稿を作成しリポートシステムに投稿。 教員からの添削ファイルないしコメントを受領し、第二草稿を作成しリポートシステムに投稿、このやりとりが何回かつづく。 科目担当者による最終稿の認定を受け、課題リポート提出完了。</p> | | | | | | |
| 成績評価 | 種別 | 割合 | 評価基準 | | | | |
| | リポート | 80% | リポート課題の理解、論旨の明快さ、表現の的確さ、内容の豊かさ、注記などについて総合的に評価。 | | | | |
| | 平常評価 | 20% | リポート提出プロセスの順守状況、リポート添削コメントに対する応答内容を評価。 | | | | |
| 履修者への要望 | ベストを尽くして課題に取り組むことを期待する。 | | | | | | |

【リポート課題】

| 基本教材 1 | |
|----------|--|
| 教材の概要 | <p>著者名 : Graham Greene 教材名 : The End of the Affair (どの版でも可) (Penguin Classics) 著者名 : C. S. ルイス著／柳生直行訳 教材名 : 『キリスト教の精髄』(新教出版社, 1994年) ISBN:978-4-40-052054-2 2,800円+税</p> <p><i>The End of the Affair</i> は第二次大戦下のロンドンを舞台に展開する一組の男女の物語であるが、エロス的関係を断ち切られる事態に至るひとりの女性の苦悩とその女性を愛した男の魂の苦闘を描いたものであるが、エロスとは異なる種類の愛が見事な技法の駆使によって作中に次第に浸透し顕在化していく力作である。 C. S. ルイスの『キリスト教の精髄』は彼がクリスチヤンになって以来、未信者である隣人たちに対して、あらゆる時代を通じて、ほとんどすべてのクリスチヤンが共通に抱いてきた信仰を説明し弁護した優れたキリスト教入門書である。</p> |
| 参考図書 | <p>山形和美『グレアム・グリーン入門』(彩流社, 2010年) ISBN:978-4-77-911597-4 2,800円+税</p> <p>Kenneth Allott & Miriam Farris, <i>The Art of Graham Greene</i>. Russell & Russell, 1963</p> <p>Robert O. Evans(ed.), <i>Graham Greene: Some Critical Considerations</i>. University of Kentucky Press 1963</p> <p>Samuel Hynes(ed.), <i>Graham Greene: A Collection of Critical Essays</i>. Prentice-Hall. 1973</p> <p>竹野一雄著『C. S. ルイス歎びの扉 信仰と想像力の文学世界』(岩波書店, 2012年)</p> <p>竹野一雄著『キリスト教弁証家としてのC. S. ルイスの遺産』(かんよう出版, 2017年)</p> |
| 履修上のポイント | <p><i>The End of the Affair</i> は時間的順序に記述されていないので、出来事の順序を整理しながら読み進めること。 『キリスト教の精髄』は論理的思考の訓練にもなるので論述を吟味して読み進めること。</p> |
| リポート課題 1 | <p><i>The End of the Affair</i> のプロット、登場人物、様々な主題、中心テーマ、物語技法について論じたのち、素材のレヴェルの主人公セアラの神認識のプロセスあるいは神概念の変化に言及し、最後に作品の現代的意義について私見を簡潔に記しなさい。 (40字×40行) × 3 ~ 3.5枚 = 4,800 ~ 5,600字</p> <p>留意点：テクストの精読を徹底し、テクスト構造に留意して作品を読み解く。</p> |
| リポート課題 2 | <p>『キリスト教の精髄』の第1部～第3部からはそれぞれ一問ずつ、第4部からは2問、合計五つの質問を考え、それら五つの質問に対する答えを考える。</p> |

| 基本教材 2 | |
|----------|---|
| 教材の概要 | <p>著者名 : Graham Greene 教材名 : <i>The Power and the Glory</i> (どの版でも可) (Penguin Classics) 著者名 : C. S. Lewis 教材名 : <i>The Screwtape Letters</i> (どの版でも可) (Createspace Independent Pub)</p> <p><i>The Power and the Glory</i> は1930年代のメキシコ南部での宗教的迫害を素材とした擬似歴史小説であり、同時に体制側の主任警部と反対体制側のウィスキー神父の思想的対立抗争を軸とする政治小説であり、また神に追われる神父の内的葛藤を克明に描く宗教小説である。</p> <p><i>The Screwtape Letters</i> は地獄の悪魔の高官スクリーテープが悪魔養成大学を出たばかりの甥の悪魔に人間の誘惑方法を教える31通の手紙より成る裏返しの神学的風刺文学である。難解な箇所もあるが、読み応えのあるユニークな作品である。</p> |
| 参考図書 | 教材1の参考図書参照のこと |
| 履修上のポイント | |
| リポート課題 1 | <p><i>The Power and the Glory</i> と遠藤周作『沈黙』を対比して自由に論じなさい。 (40字×40行) × 3 ~ 3.5枚 = 4,800 ~ 5,600字</p> |
| リポート課題 2 | <p><i>The Screwtape Letters</i> 31通のうち6つの書簡を選び、それぞれの書簡において提示される人間の誘惑方法について具体的に指摘し、その回避方法を作中からまたは自ら示す。</p> |